



## ガンバレ！栃木の子どもたち 目指せ！未来のメダリスト

### 第40回栃木県柔道整復師会柔道大会 at UK Budokan



例年5月に行われていた当会柔道大会。今年は焼けつくような陽射しが照りつける8月25日にユウケイ武道館において開催された。

総体直後ということで中学団体戦は見送り、小学生の個人戦と形競技会のみを行い、123人の選手がエントリーした。参加人数は減ったが、保護者をはじめとする応援団の声援と熱気は、変わることはなかった。

開会にあたり江原副会長は、大会になると実力を発揮できない場合があることに「ニューロンの同期発火」を起こすことで潜在能力を引き出す方法をアドバイスし「試合終了まであと一歩のところまで足元をすくわれないために、最後まで力を出し切るように」とエールを送った。

福田富一知事は、メダル合計8個獲得と輝かしい成績を収めたパリ・オリンピック柔道競技に触れ、「皆さんの中からも、近い将来、国際大会で活躍する選手が現れるのを期待する」と激励した。

まだ記憶に新しいオリンピックの感動と興奮が、子どもたちに夢を与えるきっかけになるのを願うばかりだ。

#### 積極的な攻めで実を結ぶ～4年生～

体は小さくとも闘志あふれる戦いが繰り広げられた。決勝戦は、山田<sup>まお</sup>菜桜（未来塾）と内藤<sup>がくと</sup>岳人（昭徳館）の対戦。両者一歩も譲らぬ激しい攻防の末、終始積極的な攻めの姿勢が目立った山田が優勝を勝ち取った。

山田は「準決勝では得意の大外刈りで一本取れた。今日の試合に向けて、技を学び練習した成果が出た。全国大会でも力を発揮したい」と話した。

#### 努力の成果を旗に託して～5年生～

好敵手の金山<sup>りよお</sup>凌大（未来塾）と夏錦<sup>かきんてい</sup>程（昭徳館植木道場）が対戦。両者とも積極的に激しく技をかけ合うも決め手に欠き、やや有利に試合を進めた金山が2-1の判定で優勢勝ちした。

金山は「今まで何度も負けている相手にリベンジを果たせて嬉しい。二連覇を目指したい」と話した。



日整全国柔道大会 栃木県代表選手たち

## 後輩たちの勝利を力に～6年生～

ベスト4すべてがシード選手という下馬評どおりの展開。優勝に王手をかけたのは、互いに多彩な技とスピードを生かし攻め続ける、五十嵐琉星（未来塾）と柴崎魁希（野木町柔道クラブ）。

開始から五十嵐が果敢に攻め、柴崎が反撃に出たところを返し技で技ありを取った。その後も五十嵐は攻め続け、最後は豪快な大外刈りで一本を取り試合を決めた。

## 自信あってこそ「映える」～形競技会～

大会を締めくくる形競技会は、未来塾の五十嵐琉星（取・6年）・高橋煌（受・6年）組が優勝し、全国大会への切符を手に入れた。五十嵐は本大会3連覇を成し遂げた。

選考委員からは、練習の成果への称賛とともに、実演を交えたアドバイスと形を演じる心構えについて熱いエールが送られた。

「形」の演舞は奥深く非常に難しいが、より高みを目指す彼らにとって、力強く背中を押してくれた言葉となった。



日整全国柔道大会 形競技会栃木県代表選手

## 優良礼法賞

柔道を通して社会的規範につなげる礼法。今大会でそれを実践していた以下の3選手に優良礼法賞が贈られた。

4年 佐藤玄覚（有終館）

5年 ミルザクロフ・アブドゥロー（野木町柔道クラブ）

6年 栗原里歩（佐野柔道クラブ）

終わってみれば4、5、6年生全学年個人戦、形競技の双方で未来塾の完全優勝となった今大会であるが、この結果に藤崎監督は「接戦が多く、ほとんど実力は同じだった。全員が未来塾の信条である前へ出る柔道を実践してくれた結果。全国大会は楽しむことを一番に考えていきたい」と謙虚さを見せた。

五十嵐・柴崎・金山・夏・山田は団体戦として、また形競技の五十嵐・高橋組は11月17日に講道館において行われる日整全国少年柔道大会に本県代表として出場する。

## ～信頼できる救護係～

毎回、選手たちを見守る学術部救護班。今回も鎖骨部を負傷した選手、鼻血の止血処置など選手に優しく寄り添いながら迅速に対応し大会の安全な運営に貢献した。これからも大会の守り神として活躍していただきたい。



また、今年も作新学院の生徒たちに、会場の除菌や時計係をはじめ、大会全般にわたりお手伝いいただいた。あらためて感謝申し上げます。

広報部

## 患者さん目線になることの大切さ

梅雨空の合間に日差しが強く感じる7月13日、東京都柔道整復師会館にて、田代会長が保険請求および増患セミナーを行いました。題して「これを行えば当たり前前に患者は増える！」

参加した都柔整会員は120人超。都柔整の瀧澤会長が、「こんなにも多くの会員が集まることは稀である」と言われたように、会員各々が増患と柔整業界の未来に不安を隠せないことの表れなのでしょう。

現在、患者が減少している要因のひとつである患者調査について、社団として物申すのは当然であるが、まずは私たち自身が解決すべき課題として「外傷に対する知識を深め、施術に反映させる」「柔整療養費の理解を深め、患者さんが安心してかかれる環境を作る」この二点を述べられました。

療養費の支給対象となるものは「外傷性が明らかなもの…」とされています。いかに患者さんにこの「外傷性が明らかなもの…」をエビデンスに沿って説明し理解してもらえるか、また「亜急性」の文言が整理されましたが、それに等しい文献が「MSD マニュアル家庭版のスポーツ外傷の概要」を参考にすると外傷は急性外傷だけではないことが明確に説明できます。

また、健康保険の取扱いにおいても、患者さんとの間に認識の隔たりがあります。

私たちが伝えるべきことは「施術の対象は外傷(ケガ)である」という点ですが、患者さんには外傷だと認識されていないことが多いのです。

その影響が患者調査に表れており、柔整療養費に対して不信感を抱く原因となり、結果的に「患者離れ」につながっています。

逆に外傷でないもの、あるいはほかの医療機関へすでに通院治療をしている場合には、患者さん自身に施術の選択をしていただき、状況に応じて療養費を請求せず、保険外施術とする。この点をきちんと明確にするのが大切です。

経営の面では、施術時間や初検時の注意点、初検患者への気配り、若い女性の患者さんからみた意見、また私たちから発信する情報の内容とその対象者を明確化すること、効率の良い口コミの仕方、その情報の源となる患者さんの特徴などの説明がありました。

田代会長は最後に「私の話を聞いて、そのままメモを

取るだけでは何も変わりません。皆さんが明日から何を改善し、何を実行するかを強く決心し、行動を起こした方は必ず結果が出ます」と述べられました。

このようなセミナーに同席できたことは保険部として大変参考になりました。ぜひ当会でもこのようなセミナーが開催できるようにしていきたいと思います。

保険部長 鈴木忠夫

## 保 険 部 だ よ り



### マイナ登録 お年寄りにはマイったナあ…

8月27日、栃木県自治会館にて「後期高齢者医療運営懇談会」が行われました。

今年度のテーマは「マイナ保険証」についてです。令和6年6月末日時点での栃木県内のデータです。

- ・マイナンバーカード保有率 74.45% (全国 26位)
- ・マイナ保険証登録率(後期のみ) 58.03% (全国 22位)
- ・マイナ保険証利用率(後期のみ) 12.02% (全国 6位)

上記データのマイナ保険証利用率を見てもこの数字で全国6位であり、いかに全国的に利用率が低いのが明白であります。ここでいくつかの概要がありますのでまとめて記載します。

- ①現行の保険証の発行については、令和6年12月2日で終了し、マイナ保険証利用を基本とする仕組みに移行します。
- ②現行の保険証は、令和6年12月2日以降も変更がなければ、保険証に記載の有効期限(令和7年7月31日)まで使用できます。
- ③来年度は保険証の有効期限(令和7年7月31日)を迎える前に下記の予定となります。

- マイナ保険証を登録済の方➡「資格情報のお知らせ」の送付
- マイナ保険証が未登録の方➡「資格確認証」の送付

私たちの施術所でも今年の秋以降はオンライン資格確認導入が義務化されますので、マイナンバーカード取得およびマイナ保険証登録が済んでいない方は利用登録をお願いします。

\*上記データおよび概要は、あくまでも後期高齢者医療保険を対象としたものです。 保険部

## 第93回学術講演会・第34回支部代表者研究論文発表会が開催されます

日時 10月27日(日) 9:10～12:50

場所 帝京大学宇都宮キャンパス



〈学術講演会講師〉 医療法人社団亮仁会 那須中央病院 院長 <sup>きつかわ いちろう</sup> 吉川 一郎 先生

「子どもに発症する背骨の疾患の数々とそれらへの対応について」

共催：栃木県柔道整復師協同組合賛助会員展示会

### 研究論文要旨



第1発表 片麻痺の肩関節に対する治療と機能改善を阻害する因子についての検証

鹿沼支部 溝口卓也

肩関節は片麻痺の影響を受けやすい。患者は、寒冷や冷房下環境のときが最も辛いと訴えることが多い。そこで、どのような方法で温罨法を用いれば効果的なのかを検証した。



第2発表 子どものロコモと柔道整復師にできること

小山支部 福田浩章

最近の子どもたちは、年々体力が落ち柔軟性がなくなっているといわれている。近年では、本来なら介護予防に使われているロコモティブシンドロームという言葉が、子どもたちの体の状態を表す用語として使われ始めている。この社会的問題である子どものロコモに対して柔道整復師としてできることを研究した。



第3発表 伝統医療を具現化する努力

芳賀支部 吉村 進

近年、柔道整復師を取り巻く環境変化のために、患者減少が起こっていることは否めない。そこで、柔道整復師の凋落をくい止めるための一つの方法として、柔道整復術を象徴するような器具を考案し実践してみた。



第4発表 ドローイン呼吸法による体幹強化と姿勢改善指導で得られる効果についての検証

塩谷支部 加藤芳昭

ドローイン呼吸法は体幹部、特に腹横筋を意識的に鍛える呼吸法である。これを当院では再発予防や、根本的な改善方法の一つとして取り入れている。実際に体幹を強化し、姿勢を改善することで、患者が効果をどの程度実感しているのかを検証したので報告する。



### 第5発表 小児鎖骨骨折に対する保存療法の一症例

那須支部 平石昌理

鎖骨骨折は、臨床上みることが多い骨折であるが、小児では不全骨折（若木骨折）になることが多い。今回は、転位の大きい完全骨折の症例を経験し、クラブバンドを用いた保存療法で良好な結果が得られたので報告する。



### 第6発表 大学生の傷害保険の認識状況

宇都宮支部 東 文博

傷害保険はケガをした結果、入院や通院した場合などに保険金が支払われる柔道整復師の業務にも深く関わってくる保険である。しかし、患者自身が保険に加入しているか、またどのような場合に補償されるのかを認識してない場合、受けられる補償が受けられない可能性がある。

そこで今回、大学生の自身の傷害保険加入状況と補償範囲の認識について調査した。



### 第7発表 外側大腿皮神経障害に対する運動療法の有効性について

宇都宮支部 河津 貴

外側大腿皮神経障害に対して、物理療法や手技療法のみだけではなく運動療法を取り入れた際、症状の経過がどのような変化・効果を及ぼしていったのかを考察・検証したのでここに報告する。



### 第8発表 腰椎後縦靭帯骨化症と運動療法と私

足利支部 大隅和彦

令和4年7月、私自身が「腰椎後縦靭帯骨化症」と診断された。症状は重篤で、脊椎固定・椎弓切除術を受けることとなった。

そこで、術後の予後に不安があったが、継続的な運動療法をすることで、約1か月で疼痛が緩解した。コルセットを外すことができ、現在では術前と変わらず就業している。難病指定の後縦靭帯骨化症を克服した私が、柔道整復師としての立場で腰椎後縦靭帯骨化症の経過と運動療法の大切さについて報告する。

## 第2回 とちぎ呉竹研究会開催のお知らせ

課題 令和6年度の料金改定に伴う「長期施術に対する逡減についての詳細解説」と「オンライン資格確認への対応及び問題解決ガイド」

日時：令和6年10月26日(土) 19:00～ 場所：栃木県柔道整復師会館 2F会議室

呉竹学園卒業生以外の会員でも参加可能（参加費無料!!）ですので、ご興味のある方は呉竹会会長 塚原 剛（小山支部）または呉竹会総務 河津 裕（宇都宮支部）までご連絡ください。

# Innovative Academic Department Series 新 学術部シリーズ

## 付設診療所編

とちのきクリニックでの症例をご紹介します



### 【症例】

\* 45 歳男性

\* 負傷部位：右股関節

### 【状況及び経過】

当該患者は3か月前より腰の痛みで来院していたが、右股関節の痛みが取れずにいたため整形外科にてMRI検査とX線検査を行った。画像からは股関節に問題が見られないとのことであったが、痛みが依然として続いていたので「とちのきクリニック」を受診した。

### 【とちのきクリニックでの診察】

徒手検査はすべて陰性であった。

須田利樹医師にMRI画像をあらためて読影していただいたところ、顕著な関節唇及び関節損傷は認められなかった。しかし、X線画像で左右の股関節を比較してみると問題点が浮かび上がった。痛みのある右股関節で特に、大腿骨頭から頸部への移行部にくびれがなく、太めに見える「ピストルグリップ変形」といわれる特徴が出現しており、これにより大腿骨寛骨臼インピンジメント (FAI) と診断された。



股関節を動かすと関節の中で骨同士が衝突（インピンジメント）を起こしてしまう状態になっており、それにより股関節痛が出ているとの説明があった。また、FAIによって将来的に変形性股関節症に進行する可能性が高いので注意が必要であるが、今のところ問題ないと考えられるので、運動は痛みの症状に合わせて続けていくようにと話された。

大腿骨寛骨臼インピンジメント (FAI) とは、大腿骨側または寛骨臼側、もしくはその両方の形態異常によって、股関節動作時にインピンジメントしてしまう状態。

インピンジメントにより関節唇および関節軟骨が損傷し、痛みが生じたり不安定性が生じたりする。アスリーの発症頻度が非常に高いことが知られており、症状は20～40代で自覚することが多い。将来的には変形性股関節症を引き起こす可能性が高いといわれている。

FAIはカム・ピンサー・混合の3つのタイプに分けられる。今回の症例はカムタイプにあたる。

### 【カムタイプ】

大腿骨頭から頸部への移行部が隆起していきくびれがないタイプ。隆起している部分が臼蓋と衝突して軟骨損傷が起こる。典型的な変形としてピストルグリップ変形がある。

### 【ピンサータイプ】

寛骨臼側に骨棘や形態異常があり、被覆が過剰となるタイプ。関節唇が挟まれたり、寛骨臼の辺縁と大腿骨頸部が衝突したりすることで軟骨の損傷が起こる。

### 【混合タイプ】

カムタイプとピンサータイプの両方を併発しているタイプ。

### ● FAI の症状

股関節を深く曲げたりひねったりする動作で痛むことが多い。鈍痛、違和感、引っ掛かるような感じが症状として出ることもある。症状は歩行時や運動時に現れることが多く、長時間の座位や寝がえりなどでも出現する。

診断は、疼痛誘発テスト（前方インピンジメントテスト、パトリックテスト等）や可動域、ADLや運動の支障などから判断する。

X線検査で骨形態異常、MRI検査にて股関節唇と関節軟骨の状態を確認する。

### ● FAI の治療

保存療法では、疼痛誘発動作の回避が重要。しゃがみ込みやあくらは禁忌。また、股関節周囲や体幹の筋力訓練と柔軟体操を行うことで痛みの緩和が期待できる。必要に応じて投薬や注射などの薬物療法を行う。

保存療法を数か月続けても症状が改善しない場合は手術を検討する。

学術部 大芦昌代

### 当会事務局業務時間変更のお知らせ

労働基準法に基づいた厳格な労働時間を遵守するため、以下のように変更します。

月曜～金曜（土・日・祝日は閉館）

9：00～12：00、13：00～17：45

ご理解ご協力をお願いします。

# My Box 支部リレー投稿

第246走者 芳賀支部 宮崎武志

## 40代からのサッカー再挑戦

40代になり、ふと子供の頃に好きだったサッカーを再開してみた。最初は体力に自信がなかったけれど、いざ始めてみるとボールを追いかける楽しさは昔と変わらない。仲間とのパス交換やゴールを決めた時の爽快感は、日頃のストレスを忘れさせてくれる。

しかし、すぐに息切れしてしまうのが悩みだ。若い頃のようにスタミナがないことを実感する。それ



でも、少しでも長く続けたいという気持ちは強い。体力づくりにもなるし、何より仲間との絆が深まるのが嬉しい。体力強化のためにジョギングをしたり、食生活を見直したりと、少しずつでも長く続けられるよう工夫している。



サッカーを通して、心身ともにリフレッシュできていると感じる。これからも楽しみながら、このスポーツを続けていきたい。

次回は塩谷支部にバトンタッチです。



## 災害救護って… 行けばいいってもんじゃないんです

「災害時の医療救護活動に資する研修会」が、9月1日の防災の日に当会館で開催され、27人の会員が参加した。

「私たちは傷病者の処置に目を向けがちだが、それだけでは災害現場では何の役にも立ちません」という講師の塚原経理部長の言葉で始まった今回の研修会では、資機材の運搬、救護所の設営から撤収までの実技を行った。これまでの災害救護研修でも、災害現場でのロジスティクスの重要性は繰り返し語られてきたが、今回はその一部でもある。

資機材の積み下ろし、医療用テントの組み立てと収納など一連の作業には細かい約束事があり、何度か訓練しないと身につかないものであったが、それが自身の安全確保、合理的かつ効率の良い作業につながる。

実際にこの訓練でも、車に積み込んだものの、荷室のドアが閉められないというトラブルがあった。いざという時、迅速に行動するには入念な準備と計画性、知識と訓練が必須であることがわかる。

参加した古内秀直会員（那）は「何度か災害救護の講習は受けているが、資機材の利便性が良くなっ

ているわけでもなく、現場の状況により作業の優先度も変わってくる。指示者や管理者の判断に柔軟に対応できるよう、定期的な訓練を行う必要性を強く感じる」と意見を述べている。当会としても今後もこういった研修・訓練は続けていく予定だ。

「公益活動を通して行政の私たちへの理解が深まることが、保険関係にしても実は有利になる」と会長は述べたが、公益活動を通して柔整師の存在意義を知らしめることは、業界と自身を守ることにつながることを理解し期待したい。石井総務部長は「研修会の意義を多くの会員に理解してもらい、そして積極的に参加してもらいたい」と強く訴えた。



広報部 小野塚和史

2024 (令和6年)

# 行事予定

※とちのきクリニック  
の受付は9:30~  
11:30です

## 10月

- 4日(金) 20:30 訪問医療の現状と認知症対策に資する研修 [当会館]
- 6日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・高橋・小林
- 8日(火) 療養費支給申請書必着日
- 11日(金) 20:00 とちのき11月号編集会議 小森・木下・古内
- 15日(火) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 17日(木) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 18日(金) 20:00 とちのき校正会議 小森・古内・手塚
- 20日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・館・大芦・大木
- 22日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 24日(木) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 25日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 27日(日) 9:10 第34回支部代表者研究論文発表会 [帝京大学]
- 11:00 第93回学術講演会 [帝京大学]
- 29日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・館

## 11月

- 3日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・岡本・直江・小林
- 8日(金) 療養費支給申請書必着日
- 13日(水) 20:00 とちのき12月号編集会議 小森・手塚・植木
- 15日(金) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 16日(土) 15:00 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 17日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・館・下野・大木
- 日整全国少年柔道大会・形競技会・高段者大会 [講道館]
- 19日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20日(水) 20:00 とちのき校正会議 小森・植木・小野塚
- 22日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [パルティ]
- 26日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・植木
- 27日(水) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

## 川柳

塩谷支部 船橋 仁和

万札が財布にじっとしていない  
LRT乗って話の輪に入り  
パワハラも思い出とする柔の道

# information

お知らせ

## 会員数

令和6年9月1日現在

会員数 **361名**  
 研修柔道整復師 **8名**  
 施術所数 **343院**



## 会員の異動状況報告

(研)…研修柔道整復師

- ・小柔整86 森田 剛 しもつけ整骨院  
〒329-0412 下野市柴830-6  
☎0285-39-8373 令和6年8月6日 入会
- ・宇柔整203 石川 和美 かず整骨院  
〒320-0838 宇都宮市吉野1-11-7 サラハイツ102  
☎028-612-5900 令和6年8月31日 退会
- ・塩柔整45 川俣 亮 川俣鍼灸整骨院  
【新住所】※区画整理によるもの  
〒329-1317 さくら市きぬの里3-6-5  
☎028-666-8156 令和6年7月13日 住所変更

## 訃報

佐野支部 峰岸 信夫 会員のご尊父様  
(義夫様 91歳) がご逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。

佐野支部 峰岸 信夫

## ニューフェイス

①生年月日 ②施術所名 ③施術所住所  
④TEL ⑤出身校  
⑥趣味 ⑦抱負

もりた つよし 森田 剛 小山支部(令和6年8月6日入会)

- ①平成2年3月13日 ②しもつけ整骨院
- ③下野市柴830-6 ④0285-39-8373
- ⑤大宮医療専門学院 ⑥ゴルフ
- ⑦精一杯頑張ります



## 編集後記



8月11日に閉幕したオリンピック。フェンシングの本場パリにおいて、日本のフェンシングチームが大活躍をしてくれました。毎日寝不足の日々でしたが、そんなものが吹っ飛ぶメダルラッシュに歓喜。

団体戦は男女全ての種目でメダルを持ち帰ってくれました。おかげでクラブチームへの問い合わせが増えているそうです。

次のオリンピックはロスの会場からお届けできればと…。ドラえもん